**法友倶楽部令和５年度定例幹事会【第４回】議事録**

**７月２６日（水）１６時半～ＺＯＯＭ併用で実施**

参加者

　大橋さゆり、森直也、中嶋勝規、本元宏和、川本真聖、辻村幸宏、山田敬子、土橋央征、梁沙織、本間亜紀、塚崎幸司、清水諒、屋敷明臣、田中章弘、永木友雪、入江祥大、大原靖史、町野達也、菱田優、竹田仁、仁田純佳、（敬称略）

１　開会の辞　　　　　　　　　　　（司会　山田　敬子　副幹事長）

２　幹事長あいさつ　　　　　　　　（中嶋　勝規　幹事長）

３　犯罪被害者支援について　　　　（屋敷　名臣　会員）

　屋敷会員（犯罪被害者支援委員会委員長）より、同委員会のご紹介があった。

・女性弁護士を希望する被害者も多いが、現状足りておらず、女性弁護士の登録大歓迎。

　・刑弁の経験がある人も来てほしい。

　・検察庁や警察との連携をしており、かなり相談の件数が多い。

４　副会長あいさつ及び会務報告　　（川本　真聖　大阪弁護士会副会長）

・レターケース前棚置き書類の削減について

棚置きで1500～2500枚~~２５万枚~~くらいの印刷をしている。これらの情報は、会員専用サイトに掲載されているので、紙資料の配布の廃止を目指したいが、ITに全く対応していない会員もいる。全廃案、強制減少案、様子見案がある。

「過渡期としては強制減少案がいいのではないか」「レターケース棚置き以外の印刷物が多いことも問題ではないか」等の意見が寄せられた。

５　審議事項

（１）新入会員承認の件【資料2新入会員氏名等】

入会及び会費免除（令和５年７月～同６年６月）について承認

（２）秋季総会開催の件

　　　秋季総会は開催しないことで、承認

（３）定期（冬季）総会開催の件

　　　令和６年１２月１８日に開催

６　報告事項

（１）常議員会報告

第７回７月４日（令和５年度常議員梁沙織）資料3-1報告書の通り

第８回７月１９日（令和５年度常議員山田敬子）資料3-2報告書の通り

三木会長からの日弁連報告

谷間世代への一律給付を目指していた件について、直接の給付ではなく、国からの給付金を原資に、日弁で基金を作り、公益活動を行った若手会員に日弁連から給付をする方向に、方針転換。ただし、国から介入を受け、弁護士自治の侵害にならないか、という懸念がある。

（２）大阪弁護士会会長・副会長立候補者について

　　　辻村幸宏会員から、次年度副会長候補として、立候補があった。

（３）各委員会及びジュニア部報告

企画委員会　　（大橋さゆり委員長）

　　　広報委員会　　（辻村幸宏委員長）資料4-1　議事録の通り

　　　親睦委員会　　（塚﨑幸司委員長）資料4-2　議事録の通り

　　　法曹交流委員会＆研修委員会（本元宏和委員長）

研修委員会としては、①諸橋弁護士を講師に招いた研修、②NPO法人遺言・相続・財産管理支援センターとのコラボによる信託に関する研修、③EAP（従業員支援プログラム）の研修、④IT裁判に関する研修などを計画。研修につき、単位認定の取得も検討中。

　法曹交流委員会としては、かつての事前修習のような合格者に向けた企画を検討中。

　　　ジュニア部　　（天井友香・町野達也ジュニア部代表幹事）

　　　　　副会長候補者に意見を聞く会を開催し、辻村先生を副会長候補者として、ジュニア部としても応援することに賛成。

　　　　　次回例会は、京セラドームに野球観戦に行く予定である。

以上